

『沖縄県史 図説編 前近代』 目次・執筆者

	タイトル	執筆者	
総説		安里進・里井洋一	
I 琉球史の時代像	I-1	琉球列島の生い立ち	神谷厚昭
	I-2	先史時代の人骨	山崎真治
	I-3	旧石器時代のくらしーサキタリ洞人を例にー	山崎真治
	I-4	沖縄・奄美の貝塚時代のくらし	宮城弘樹
	I-5	先島諸島の先史時代のくらし	宮城弘樹
	I-6	グスク時代のはじまりと奄美	永山修一
	I-7	グスク時代とグスクの成立	山本正昭
	I-8	墓制と王陵	安里進
	I-9	冊封・朝貢と大交易	麻生伸一
	I-10	琉球国の成立（三山統一）と領域の拡大	豊見山和行
	I-11	仏教と梵鐘	栗国恭子
	I-12	王国の宗教政策と女性	栗国恭子
	I-13	琉球王国の近世的再編	田名真之
	I-14	琉球国のネットワーク	豊見山和行
	I-15	唐旅と大和旅	麻生伸一
	I-16	系持ちと無系の世界	麻生伸一
	I-17	人口増大と都市化する首里と那覇	安里進
	I-18	島のくらしと物流	里井洋一
	I-19	文化の隆盛	小野まさ子
	I-20	異国船の来航	真栄平房昭
	I-21	自然災害と近世後期の琉球社会	山田浩世
II 図やモノでみる多様な琉球史	II-1	骨からみた琉球列島人	山崎真治
	II-2	生産を考える	里井洋一
	II-3	何を食べていたか	下地治人
	II-4	土の器	倉成多郎
	II-5	住居と風土	仲宗根求
	II-6	貝をめぐる琉球史	栗国恭子・前田一舟・岡本亜紀・國吉まこも
	II-7	琉球の多様な石造建造物	宮城弘樹
	II-8	グスクの役割（機能）の変化	山本正昭
	II-9	絵地図からみた琉球	豊見山和行・安里進
	II-10	絵地図からみた集落・都市空間	山本正昭
	II-11	変貌する首里・那覇の都市景観	安里進
	II-12	描かれた首里城正殿の虚実	安里進
	II-13	琉球王権の文様	山本正昭
	II-14	肖像画にみる国王と家臣	平川信幸
	II-15	琉球王権と儀礼	麻生伸一・上江洲安亨
	II-16	首里城の御嶽と斎場御嶽	伊從勉
	II-17	時間と音	高良倉吉・真栄平房昭・栗国恭子
	II-18	モノであらわす身分制	麻生伸一・栗国恭子
	II-19	外からの琉球人イメージ	豊見山和行
	II-20	交流からみる琉球人・琉球国	麻生伸一
	II-21	港・航路・船	麻生伸一
	II-22	沖縄の墓と厨子	倉成多郎
	II-23	色	栗国恭子
	II-24	身体表現	栗国恭子
	II-25	香りと匂い	栗国恭子・真栄平房昭
	II-26	泡盛	萩尾俊章
	年表・主要参考文献・図版出典一覧・執筆者一覧・協力機関・協力者一覧		